

2025年2月12日(木)

令和6年度「手づくり郷土賞」認定証授与式意見交換会

会場: 奈半利町保健センター

高知県でお世話になりました

地域再生マネージャー (ふるさと財団)

地域活性化センターシニアフェロー

齊藤俊幸

(t-saito@zofrex.co.jp)

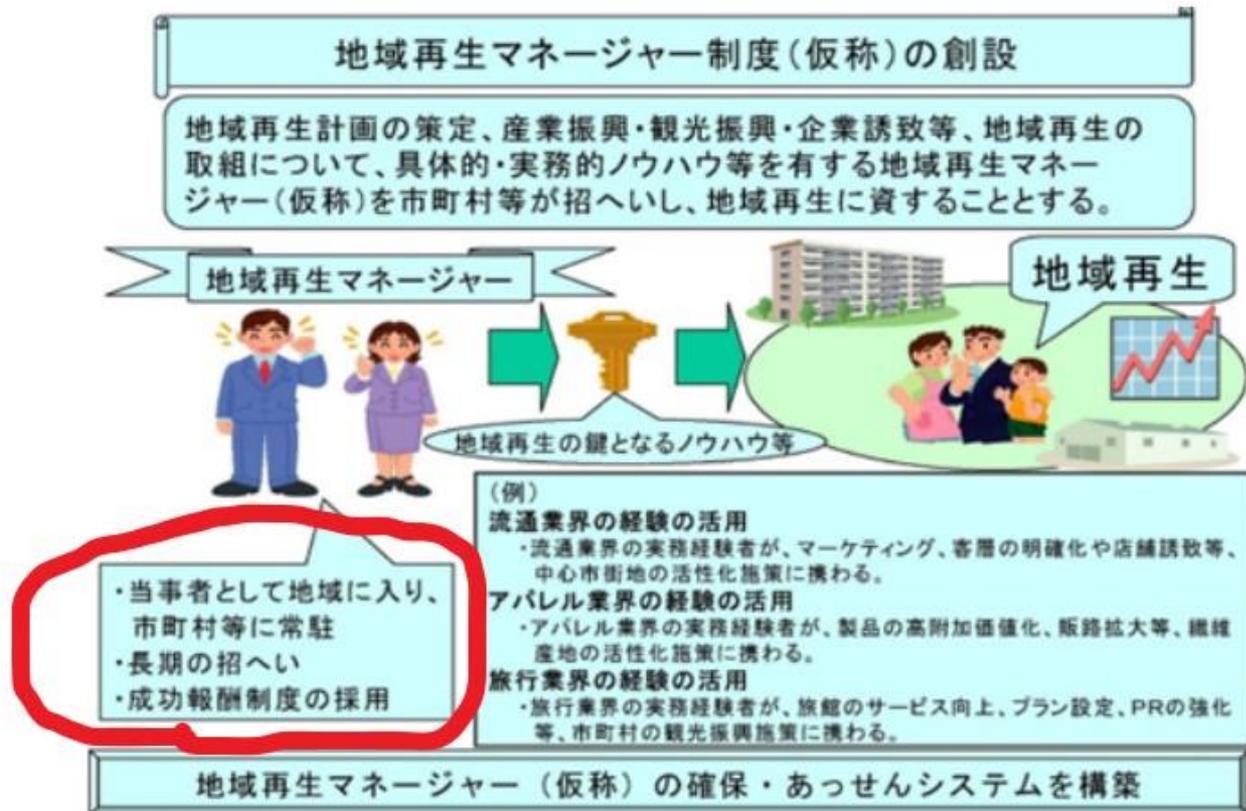
2004年 小泉内閣のもと 熊本県荒尾市の地域再生事業がスタート



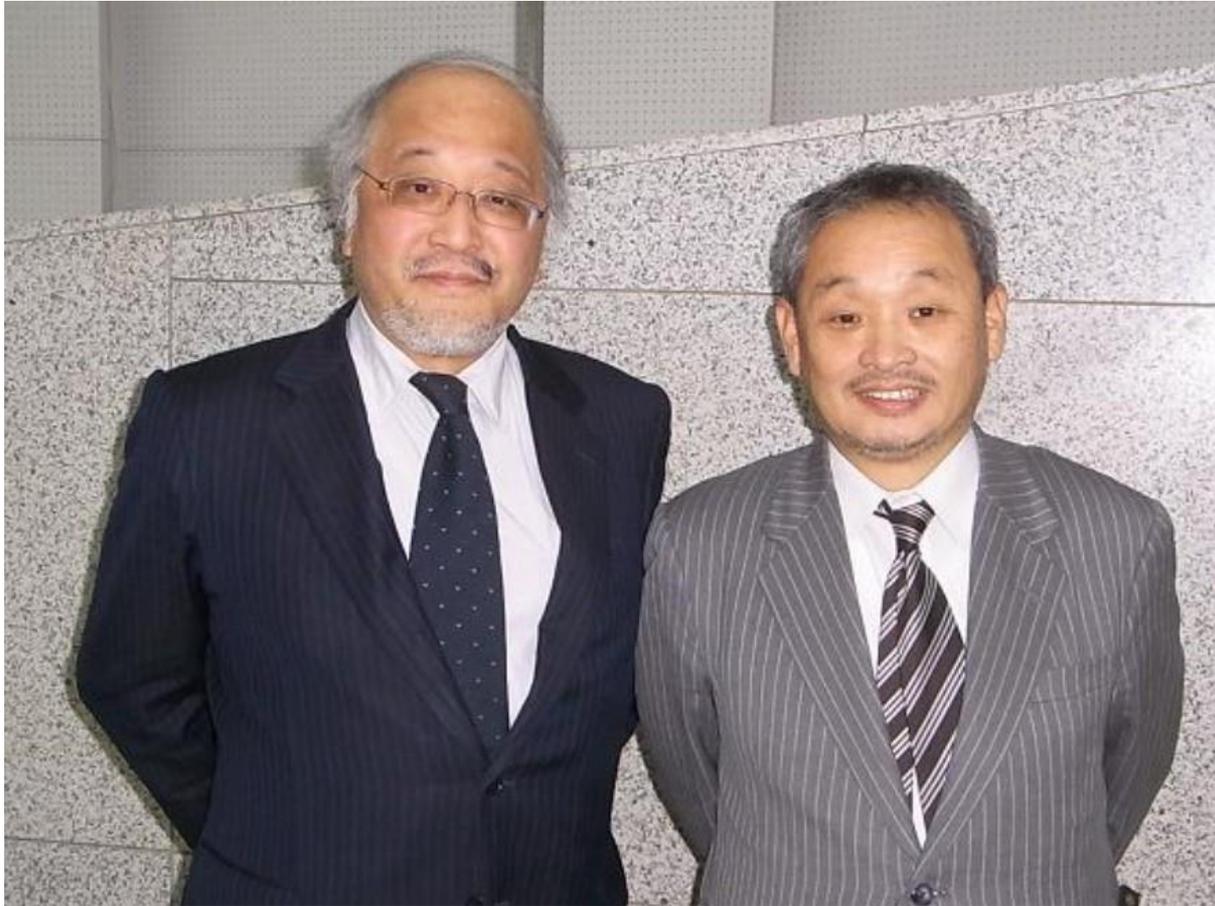
2003年(平成15年)

地域再生マネージャー事業制度の創設

齊藤は1期生、以来11年間地域に住込んだ



2003年地域再生マネージャーとして赴任することになったと小学校の同級生の藤本隆宏先生(現在東京大学名誉教授)に相談した



小学校の同級生(中央:斉藤、右:藤本)



地域再生に大切なのは「**創発とパッション**！」

創発とは『瓢箪から駒、怪我の功名、思惑倒れ』



「倒産危険度」ランキング20位に 荒尾市が入り、道の駅計画は頓挫



商店街に直売所を作ることになった



2005年まちなか研究室青研を開設

開店初日におばあさんが現れ、『1キロ先にあるショッピングモールまで歩いていけない。1週間に1回タクシーに乗って買い物に行っていた。しばらく青物食べていない、ここに八百屋を作ってくれてありがとう』と発言。



2006年朝日新聞九州版「高齢者待ってた」

再生アイデア商店街

産直店高齢者「待ってた」

荒尾

お年寄りが集う通りは荒尾市にある。商店が半壊約300軒の中央商店街。戻りつつあるにきわむの中心にあるのが、空き店舗で昨年5月に生まれた農産物直売所だ。

午前9時の開店から農家が白菜やミカンなどを運んで並ぶ。つえをつき、自転車を押し、お年寄りがやって来る。「危なかけん、遠くまで行けん、運動になるし、便利よかです」。生花を賣った小川弘美さん(82)は笑顔で話した。荒尾市は三浦炭鉱万田坑で栄え、約20年前は約6万

3千人が暮らした。07年の閉山後に急減した人口は約5万1千人、約1キロで5点に空き店舗に構えた「青空研究所」に常駐を始めた。「野菜を賣る場所がない」という嘆きを聞き「家賃の足し」と直



売を始めた。初めは月100万円弱だった売り上げは倍増し、2月から黒字続きた。現収入を得たい農家、近で買いたい物をお年寄りにきわむを取り戻したい、商店街、3者のニーズが合致した。斉藤さんは「小さな生活圏に高齢者のマーケットがあることに気づいた」と話す。直売店は農家に売り上げの15%を納めてもらう。ワインやジュース、味付けナリなど独自の果物は波及した。市南部の米倉庫跡で3月、魚介類の直売所が誕生。J.R荒尾駅前では今年11日、商店主

空き店舗を利用した産直所。野菜、米や焼き物も並ぶ。熊本県荒尾市増水で

らが直売所「にんじん畑」を開いた。市はお年寄りに優しい直売所を、6店に増やしたい考え。
斉藤さんは来年3月で任期を終える。「小さな直売所が集まれば、大型店に負けない可能性がある」と期待している。

2006年朝日新聞全国紙 「お年寄りの心がちり」

いまがわかる あすをさぐる



列島 2006

熊本県荒尾市

熊本の中心地である荒尾市は、人口約10万人、面積約1,000平方キロメートル。かつては、戦国時代から藩政の中心地として栄え、明治以降は、交通の要所として発展してきた。現在は、熊本県庁所在地であり、県庁機能の移転も進んでいる。また、熊本県立大学や熊本県立病院など、教育・医療の機関も充実している。

直販所 商店街を救う

お年寄りの心がちり

熊本の中心地である荒尾市は、人口約10万人、面積約1,000平方キロメートル。かつては、戦国時代から藩政の中心地として栄え、明治以降は、交通の要所として発展してきた。現在は、熊本県庁所在地であり、県庁機能の移転も進んでいる。また、熊本県立大学や熊本県立病院など、教育・医療の機関も充実している。

熊本の中心地である荒尾市は、人口約10万人、面積約1,000平方キロメートル。かつては、戦国時代から藩政の中心地として栄え、明治以降は、交通の要所として発展してきた。現在は、熊本県庁所在地であり、県庁機能の移転も進んでいる。また、熊本県立大学や熊本県立病院など、教育・医療の機関も充実している。

熊本の中心地である荒尾市は、人口約10万人、面積約1,000平方キロメートル。かつては、戦国時代から藩政の中心地として栄え、明治以降は、交通の要所として発展してきた。現在は、熊本県庁所在地であり、県庁機能の移転も進んでいる。また、熊本県立大学や熊本県立病院など、教育・医療の機関も充実している。

空き店舗を使った荒尾市の再生の取り組み

地域再生マネジャー
高橋俊幸さん

新商品の開発
水産加工
ワイン
農産物 など...

元空き店舗

助言
野菜などの直売

お年寄り **購入** **販売** **商店主**

熊本の中心地である荒尾市は、人口約10万人、面積約1,000平方キロメートル。かつては、戦国時代から藩政の中心地として栄え、明治以降は、交通の要所として発展してきた。現在は、熊本県庁所在地であり、県庁機能の移転も進んでいる。また、熊本県立大学や熊本県立病院など、教育・医療の機関も充実している。

地域総合

知事語録

◆自治体破壊
「自治体破壊」という言葉は、自治体の合併や再編を指す。これは、地方自治の効率化やコスト削減を目的として行われる。しかし、合併によって地域コミュニティが壊れ、住民の生活に悪影響を及ぼす可能性がある。そのため、合併を進める際には、住民の意見を十分に聴き、地域の特徴や歴史を大切にすることが重要である。

◆後退の勇気が必要／市町村へ適切に助言
破たん、今後も出る／監視の目なかった

熊本の中心地である荒尾市は、人口約10万人、面積約1,000平方キロメートル。かつては、戦国時代から藩政の中心地として栄え、明治以降は、交通の要所として発展してきた。現在は、熊本県庁所在地であり、県庁機能の移転も進んでいる。また、熊本県立大学や熊本県立病院など、教育・医療の機関も充実している。

自治体なんでもランキング

ビール購入額1位 広島 好みに土地柄にじむ

ビール購入額1位の広島市は1世帯あたりの平均で2万1千円を越えた。

少ないのは鹿児島市だが、同市はビールをこくりとすれば、さよらの寝れも吹っ飛ぶ。

ビール購入額1位の広島市は1世帯あたりの平均で2万1千円を越えた。

少ないのは鹿児島市だが、同市はビールをこくりとすれば、さよらの寝れも吹っ飛ぶ。

市	世帯数	平均購入額
鹿児島市	21,603	14,687
福岡市	20,777	14,413
京都市	20,537	14,278
横浜市	18,683	14,202
山形市	19,505	13,896
新潟市	19,405	13,885
東京都	19,358	13,414
大阪市	18,893	12,895
横浜市	18,800	12,723
青森市	18,852	11,608

高知県新聞記者会によると、その高知でも「大酒を飲むというよりも、料理を楽しむながら、いり酒を味わって飲む人が増えている」。

ご意見・ご感想を地域編集部までお寄せください
chiki@asahi.com / 03-5642-8176 (ファクス)

2009年「買い物難民」と研究者が命名、全国で900万人存在すると発表 『瓢箪から駒』



2008年地域再生マネージャー事業の荒尾市の 成果を椎川地域力創造審議官に報告 熊本県荒尾市



2009年椎川審議官現地視察

熊本県荒尾市、宇城市、大分県竹田市



2009年地域おこし協力隊創設委員会 住込み型地域再生マネージャーがモデルのひとつ 地域おこし協力隊卒業生はすでに5万人を超える⇒『瓢箪から駒』



地域再生の現場は「創発」が起きる。買い物難民、地域おこし協力隊は「瓢箪から駒」から生まれたふるさと財団誌

地域再生マネージャーに聞く

荒尾市地域再生マネージャー(イ)

荒尾市における「創発」の姿



空き店舗増加、人口流出が進む熊本県荒尾市。斉藤マネージ活拠点を置き、地元の人々と一緒に考え一緒に行動することで、拠点「青研」の形成、特産品の開発、商店街ワイナリーの実現にその結果、現在では、地元住民自らの起業意識が高まり、地域全が向上しつつある。そこで、荒尾市の地域再生マネージャーとして、斉藤氏に、これまでの活動の経過・現状及びマネージャーに求め、お話を伺いました。

——荒尾市のマネージャーには、どのような経緯で就任されたのでしょうか。

関東学院大学の昌子住江教授の「まちづくり起業入門」というゼミで、4年前に横須賀市湯浜で「まちなか研究室」を立ち上げました。醸造機械を使ってワインを仕込みもうと考え、住民1口1万円で300万円の醸造設備を揃えて、商店街の人がボランテアでワインを仕込み、それで家賃を払い、あとは、学生との協働のまちづくりのお金に使うという取り組みを進めていました。そのような時に、地域再生マネ

ージャーのお話をいただきました。一度は市役所に席をいただき、地域に合った現場を走りたいと前から思っていたものですから、これはいいチャンスだと、即座に決めました。

——現地で生活してみたいかがですか。

平成16年の12月から商店街内のお茶屋さんの空き店舗を家賃1万円で借りています。水洗トイレもなく、雨漏りもいっぱいですが、ムカデもアブラムシも同居していますが、良い経験をさせてもらっています。自転車です役所まで通って、市役所の軽自動車に乗って

現場を回っています。

いることで、夜の10

みんなで議論したり、

だりもできます。自

と、住民の方が挨拶

地域住民に助けられ

ということを感じて

でよかったと思っ

——ところで、

動は、どのように始

うか。

最初は、地域のこ

市役所の担当者とい

りながら、1カ月程、

2009年 地域活性化伝道師伝達式(初代) 内閣官房大臣室(斉藤がモデル)



2009年 地域活性化伝道師伝達式(初代)



2010年 地域力創造アドバイザー就任式(初代)

総務省総務大臣室



平成の世間師たちが語る
見知らぬ五つ星

知られざる 日本の 地域力

★★★★★ SHARING THE POWER
TO REVITALIZE THE COMMUNITY
地方創生のプロ10人による画期的新刊

- 椎川 忍
SHIMIZU SHIKAWA
- 小田切徳美
TOKUMI SOAIBI
- 藻谷 浩介
AOKIHOE HOJIANI
- 山田桂一郎
YAMADA KEICHIROU YAMADA
- 木村俊昭
KIMURA TOSHIAKI KIMURA
- 高橋信博
TAKAHASHI NORIHIRO TAKAHASHI
- 武居丈二
TAKEJI TAKEI
- 斉藤俊幸
SAITO TOSHIYUKI SAITO
- 宮口侗迪
MIYAGUCHI DOUTI MIYAGUCHI
- 小西砂千夫
SAKINO SACHIO KOSHIKI



国務大臣
地方創生・国家戦略特別区域担当
石破 茂 氏
推薦!!

地域の熱意と知恵が この本には詰まっている

これだけ多くの地域で現場の底力が発揮され、また多くの専門家がそれを見出し支援しているという事実が、国を挙げての地方創生に希望と夢を与えてくれる。「人まねでは成功しない」「行政に頼らない」「あるものを生かす」——多様性に満ちた活気あふれる日本をともに創るためのヒント、先達の苦勞と喜びを学ぶことができる一冊

国務大臣 地方創生・国家戦略特別区域担当 石破 茂

2008年9月21日に高知県庁初訪問 「高知県に来ないか」と尾崎知事 2007年12月7日から高知県知事(第1期初年度)



2010年 高知県初の地域おこし協力隊制度導入



林業女子

里山を守り、地域を活性化したい

高知市から車で北に約40分。四国を中心とする山あいに、本山と「ナイア」が集まって高知県の森林整備を手がけるNPO法人「工作」の森・教養隊の活動だ。同女子」と呼ばれる女性たちがいる。野尻先生さん（左）が「ナイア」を牽引して技術を学び、林業をはじめ、同地に所属する約40人のうち10人が女性で、今後もあるの回転が十分であることを目指す。見込みだという。

なぜ、林業に魅力を感じるのか、時久さんはその理由をこう語る。「林業は、山に入って自分の一休も自分で作業をしないといけないので、経験がそのまゝ自分の技術になることが楽しいです」。2人は現在、本山町の町正職員として、地域活性化を担う「地域づくりはじめる」作業道は、大南時に王砂山や山腹原の原図になるため、最も難しい部類の仕事だ。だが、時久さんは一人で、100以上の作業をこなす。週間でつづけた。その世界は、プロの林業家と比べると、2人の林業家は約2年、3人が

高知市から車で北に約40分。四国を中心とする山あいに、本山と「ナイア」が集まって高知県の森林整備を手がけるNPO法人「工作」の森・教養隊の活動だ。同女子」と呼ばれる女性たちがいる。野尻先生さん（左）が「ナイア」を牽引して技術を学び、林業をはじめ、同地に所属する約40人のうち10人が女性で、今後もあるの回転が十分であることを目指す。見込みだという。



伐倒した木を山出しする。大木は切ると、山出しをするのが大変だ。山出しは、

二人とも嶺北地域にいます

野尻さん、時久さん



私たちが林業女子です

これまで男の世界と考えられていた林業界に、「林業女子」と呼ばれる女性が増えている。男衆も認める技術力で、林業の未来を切り開く。
 写真：野尻川 望(写真真似) 文：西原千生(本誌)

美しい杉を見て木の林態を観察する時久さん。観察眼も林業家に必要な資質の一つ



重機を運転して作業場をつくる。よい作業場の整備は、山を守るための大切な仕事だ



仕事を終えて地域の人と談笑。これもプロの林業家からアドバイスを受ける貴重な機会だ

山から下りた後には、チェーンソーを掃除する。露品をバラバラにして汚れを取り除く



新藤総務大臣



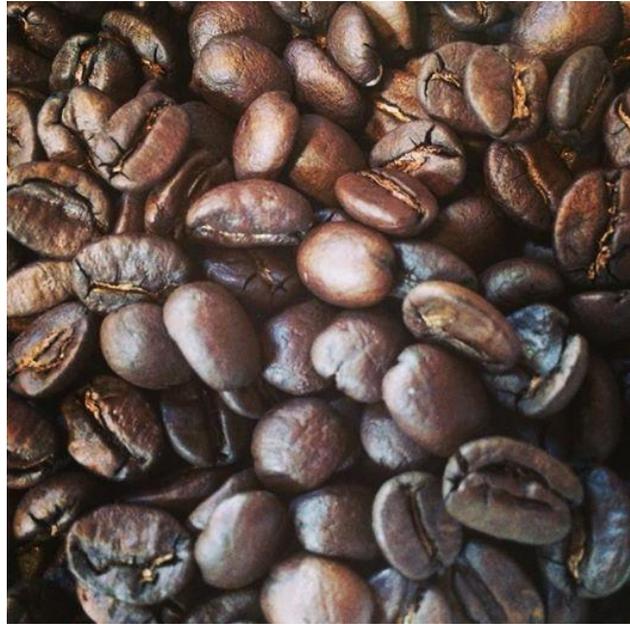
高知県は集落活動センター制度創設 第1号の集落活動センターは汗見川



大下さんはカフェを開業 JOKI COFFEE



大下さんはコーヒー焙煎機を購入



大下さん JOKI COFFEE



米日本一「土佐天空の郷」

「お米日本一コンテストinしずおか2010」で最優秀賞受賞!

日本一おいしい米に選ばれました。

2010年11月26日に開催された「お米日本一コンテスト」において、全国36道府県から397点の中から、本山町ブランド推進協議会「天空の郷:にこまる」が初出品にも関わらず、最優秀賞に選ばれました。この大会で「コシヒカリ」以外の品種が選ばれることは初。西日本でも初めての快挙です。

特別栽培米
土佐 天空の郷

てんくうのさと

霧深まき嶺生まれ「柳田」令ち

高知県本山町産

特別栽培米 (とさてんくうのさと)
土佐 天空の郷

天空の郷は、良食味米を生み出すために室戸海洋深層水(にがり)使用や火粒で糠りの良い良質なお米のみを賢況に選抜するなど、最大限にうまみを引き出す調整しています。

米コンテストへの出品



米日本一「土佐天空の郷」



「土佐天空の郷」2度目の日本一



「土佐天空の郷」日本一記念祝賀会



小型米焼酎ビジネス

中米を活用、常圧蒸留器
合同会社ぼうむ(高知県本山町)



東京ウイスキー&スピリッツコン ペティション2024金賞受賞

baam



土佐泡盛
REI HOKU
35%

- 〔原材料〕 米(天空の郷)/米こうじ/水
- 〔AL度数〕 35%
- 〔蒸留方法〕 常圧蒸留
- 〔熟成期間〕 5年(ステンレスタンク)



安部首相から招待

首相官邸



福島県只見町で米焼酎蒸留所を創業 只見町の農家4人と酒造会社勤務1人 合同会社ねっか



酒造技術者をリーダーとして招へい 合同会社ねっか



米焼酎ビジネス(30ha)減圧蒸留器

福島県只見町



土佐・会津連合で蒸留スタート

藤川さん、黒岩さん



農家が海外の酒のコンテストに参加



酒コンテスト



海外のお酒コンクールの賞を受賞



世界コンクールで受賞



日本農業賞受賞



石破首相から招待

首相官邸



宇佐もんや(土佐市)

2009年開店



宇佐もんや(土佐市)

2009年開店



宇佐もんや除幕式

2009年開店



企業組合宇佐もん工房（小さな成功を得て高知県と土佐市の支援を受け再投資）



作業風景



農水省事業を採択、企業組合宇佐もん工房設立。雇用10人、年商1億円の鮮魚業務卸に成長 (高知県土佐市)⇒尾崎知事の産業振興計画の成功事例



農水省100%助成事業
マイナス30°Cの冷凍庫ゲット

農水省食品産業局長賞受賞 うるめイワシプロジェクト (高知県土佐市)



グラッチェミーレ 森澤シェフ (高知市) 登場

長崎県五島市奈留島

五島列島 奈留島

一品になる・シェフになる・笑顔になる

漁師のイタリアン

魚の島の新しい名物をつくるプロジェクト
高知のイタリアンのシェフと一緒にメニュー開発を行い、奈留島に水揚げされる五島列島の鮮魚を用いた発注保存の加工品が2020年に誕生しました。
奈留町の産業振興の活性化を目指す漁協の歴々の一代の大船プロジェクトです。
【売り上げの一部を江上主宰の維持・管理費として寄付します。】

世界文化遺産 江上天主堂

NARUSHIMA

高知の本場イタリアンダイニング
【グループミーレ】
森澤シェフ監修

オーナーシェフ
森澤 誠二

マダモアバコフ
漁師のイタリアン
お刺身・お弁当
お惣菜・お惣菜
お惣菜・お惣菜

タコハシロ
漁師のイタリアン
お刺身・お弁当
お惣菜・お惣菜

マリイロ・ベロイ
漁師のイタリアン
お刺身・お弁当
お惣菜・お惣菜

アジのフレック
漁師のイタリアン
お刺身・お弁当
お惣菜・お惣菜

サバのうま煮
漁師のイタリアン
お刺身・お弁当
お惣菜・お惣菜

タイ味噌
漁師のイタリアン
お刺身・お弁当
お惣菜・お惣菜

サバのトカレ
漁師のイタリアン
お刺身・お弁当
お惣菜・お惣菜

奈留町漁業協同組合

〒853-2201 長崎県五島市奈留町須 1839番地7 奈留町漁業協同組合
【お工場】 TEL: 0959-64-4000 / FAX: 0959-64-4752
【本 州】 TEL: 0959-64-3115 / FAX: 0959-64-3119
E-mail: tkyo@jf-naru.com

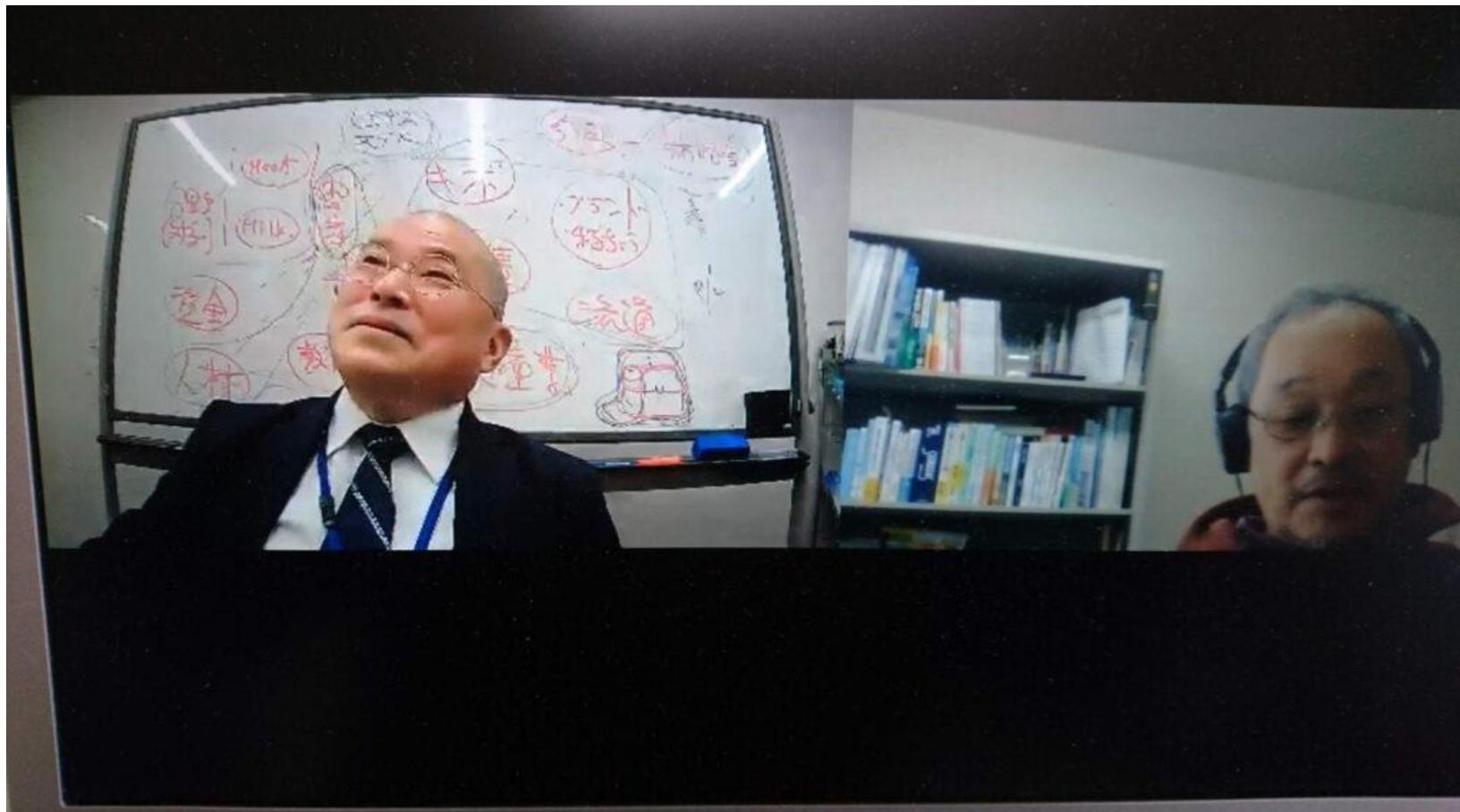


「漁師のイタリアン」が水産庁長官賞受賞 長崎県五島市奈留島



博士号を取らないか

コロナ禍の最中、高知工科大学博士課程後期社会人特別
コースで那須教授からオンラインで個人指導



放牧を研究、大島さんを論文で調査

高知県本山町



大島一家



地域活性化の課題構造の解明－畜産業を事例として



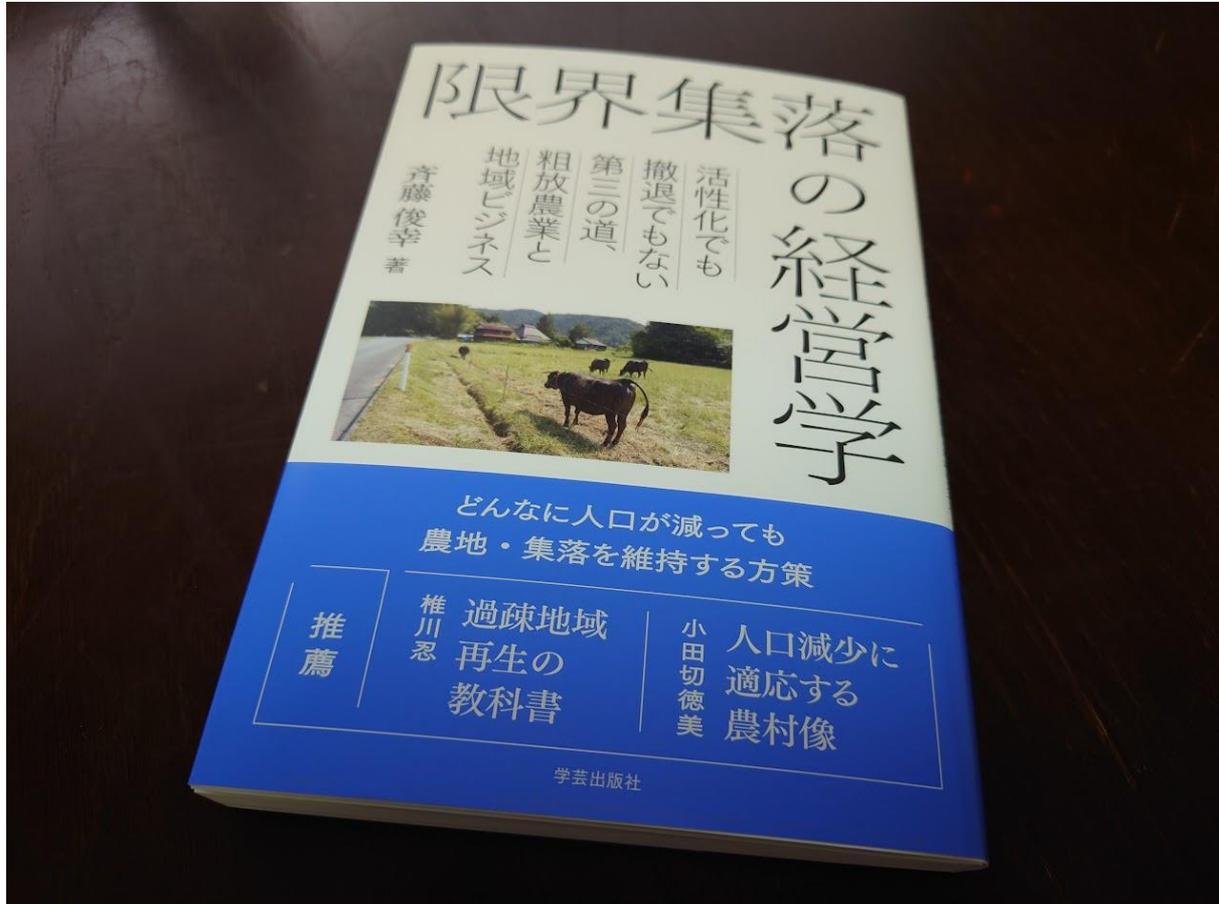
高知工科大学（66歳で博士号取得）



那須先生(左) 高知工科大学



2024年『限界集落の経営学』を出版 学芸出版社



「限界集落の経営学」は地域おこし協力
隊を制度化した椎川さんと小田切先生の
推薦がオビに書いてある



高知県の皆さんに感謝
齊藤俊幸